

中大江小学校での子ども美術広場

コロナ禍で途絶えていましたが、8月17日（月）、中大江小学校いきいき教室で、久しぶりのSA活動を行いました。当日は市SA連協のメンバー6名と、美術アートのグループ「ドットアートコスモ」のメンバー7人と協働して「子ども美術広場」を開催しました。

コロナ感染の予防のため、子どもたちが会場の体育館に入る前に、検温と手指の消毒を行ってもらいました。また、体育館に備え付けのものに加え、大型の扇風機を持ち込み、換気に努めました。子どもたちは、1年生が半分を占める低学年を中心に30数人が集まりました。

SA連協は、手まり、コップのニワトリ、折り紙「百面相」を担当しました。「ドットアートコスモ」の皆さんは、①いろいろな色のビニールの切れ端をボンドでつなぐ②ビニールで作った大きなパンツに模様を描いていく③校舎の写真に思い思いの絵を描く、の3種類でした。

一とお楽しみした後、子どもたちを二組に分けて、ビニールシートの下を潜り抜ける遊びを行い、大変盛り上がりました。

最後に全員で記念撮影を行い、子どもたちは校歌を歌ってくれて無事お開きとなりました。

開始前の朝礼



検温して入場



ボンドから生まれる遊び



校舎に絵を描いた



シートの下をくぐる



バンザイで記念撮影

